

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	70%	自校A B層の割合	55%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>ねらいを明確にした授業を行う。</li> <li>問いをもち主体的に考える学習過程を設定する。</li> <li>話し合い、議論する活動を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京ベーシックドリルの診断テストを年3回実施する。</li> <li>ICT、一人一台のタブレット端末を活用した分かりやすい授業を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本小スタンダードを定着させる。</li> <li>宿題、自主学習について丁寧な指導を行う。</li> <li>学習規律に関する振り返り(自己評価)を実施する。</li> </ul>
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で考える、ペアで考える、グループで考えるなどの授業形態を工夫する。</li> <li>全員が自信をもって答える場面を授業の中でつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後補習教室業者と連携した指導を行う。</li> <li>授業中の個別支援を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>確実に取り組める量や内容の課題を設定する。(宿題)</li> <li>家庭とよく連携し協力を得られるようにする。</li> </ul>
成果指標	全国学力調査 「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」 肯定的な回答 <b>85%以上</b>	東京ベーシックドリルの診断テスト 平均正答率 <b>70%以上</b>	全国学力調査 「授業時間以外の勉強時間」 1時間以上の回答割合  <b>90%以上</b>